

ふれあい

平成21年 8月 第281号
大代地区コミュニティ推進協議会
〈編集部〉
事務局：大代地区公民館
☎364-8442

〈掲載目次〉

- 笠神五丁目(大代中行政区)
 - 対象の防災訓練結果 . . . 1
- 中区人物往来(一) . . . 2
- 安全で安心して暮らせる地域社会 . . . 2
- 流灯花火大会の御案内 . . . 2
- エコを考える . . . 3
- 区民のぼやき . . . 3
- サークルゆり会員募集 . . . 3
- 大代地区公民館
 - 軽運動教室参加募集 . . . 3
- 大代の歩み(十七) . . . 4
- ふれあい短歌・俳句 . . . 4

笠神五丁目(大代中行政区)

対象の防災訓練結果

大代中区町内会長 小野 菊郎

中区では初めて、産業道路西側市営大代住宅地内で防災訓練を実施しました。内容は事前広報訓練(五月三十一日実施対象七十一世帯)と防災訓練(六月七日)です。

事前広報訓練は、自主防災運営委員、班長が全世帯を訪問し、日常生活の中で、防災意識を高める啓発活動を主眼として実施しております。大災害が発生した場合、全て自助から始まりません。行動に移せるよう身体に覚え込ませる訓練が必要です。

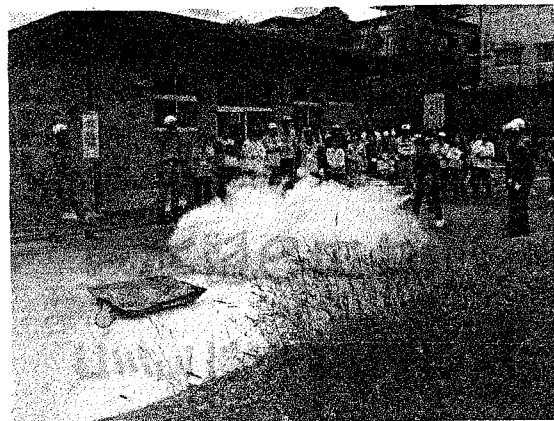
アンケートの結果は、火災報知機設置、飲料水常備、防災マップ保有は五十%以上の世帯で設置、常備されておりました。家財転倒防止、非常食・非常持ち出し袋は五十%以下、防災啓発冊子の【備え】保有者は半数以下の世帯でした。

昨年の結果と比較して、家庭内の防災対策は充実されてきました。

今後は、冊子【備え】にある対策を家族で話し合いをして行動に移すことが求められます。尚、数値は該当世帯数六十二%の結果でした。

防災訓練は、自助、共助を踏まえての避難訓練、消火(水・油)訓練、高所救

助訓練、応急手当訓練を実施体験をいたしました。消火器取り扱いについては、落ち着いた操作が如何に出来るか課題の様子でした。



火を消すのは大変なことです

体験して見る事が いざという時落ち着いて消せます

終了後のアンケート(回答者二十八名)では、家族で防災を話している十七名、良かった点は、体験することが意識向上・実践につながる事、共助精神の芽生えを感じた、近所の顔が分かった等。良くなかった点は、参加者が少ない、参加者の意思統一は難しい等でした。

今後の訓練には、多くの方が参加してほしい、災害弱者の救助は出来ない、訓練は定期的の実施してほしい等の声が寄せられました。今後の訓練に活かして充実した内容にしてまいります。参加者は四十六名(去年は二十五名)でした。

七十一世帯中四十六名(昨年は二十五名)でした。

中区人物往来(一)

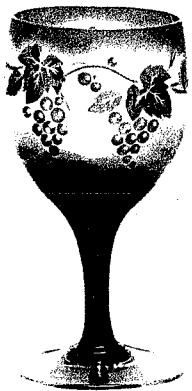
大代中区町内会長 小野 菊郎

三回に亘り三名の方をご紹介いたしました。一回目は、ガラスエッチングをしております伊藤寿男さんです。ガラスにサンドブラスト技法で彫刻する技術です。エアークンプレッサーで空気を圧縮し、その力で砂とガラスの表面に吹きつけ彫刻していきます。異なる色を重ねた色被せガラスの彫刻は、下から浮かび上がる色と、削らずに残った表面のガラスの色が美しいコントラストを描き華麗さと気品を兼ね備えたガラスの芸術品が出来上がります。

彫刻には、着色も出来、上品で繊細な美しさをいつの時代も変わることなく私たちの心を魅了して止みません。

ガラス製品であればどんな形でも彫刻は出来ます。心安らぐ装飾用に、使用する日用品にガラスの彫刻をお加え下さい。お問い合わせ 大代1-3-22

電話 362-0267へ



安全で安心して

暮らせる地域社会

大代防犯協会 会長 伊藤 一郎

去る六月十六日、大代地区の全世帯で組織している大代防犯協会の通常総会が参加者二十一名と少ない中、無事終了しました。総会終了後、本年四月一日から大代駐在所に赴任した武田一貴所長を講師に「東豊中校区の安心・安全のために」と題し、大代・笠神地域の犯罪や防犯活動について講話をいただきました。

その中で、地域内の犯罪件数は前年同期より約三割減少傾向で、特に平成十七年に設立した「東小学校区コラボスクール推進協議会」事業の一環として小・中学生の登下校時に地域内の皆さんが要所で見守っている活動などが話題になりました。地域の力が大なることを実感しました。

本防犯協会の役員は、大代各区長さんから推薦された二十名の構成ですが、「みんなのでつくりう安心の街」を合言葉に地域の安全のため、広報・巡回活動を中心とした事業を本年度も展開してまいりますので、皆様の御協力をよろしくお願ひ申し上げます。

流灯花火大会の御案内

大代地区恒例の灯籠流しが今年もやっ

てまいりました。

皆様ご存知の通り、貞山堀は、多くの犠牲者を出しながら掘削工事を行い、三百五十年前に大代地区が完成いたしました。開通後は、海上運輸と共に、運河を利用した物流が発達し周辺の経済交流を盛んにし、現在の代地区が創られました。

一方、痛ましい水難事故が絶えず多くの方が亡くなられております。

この痛ましい犠牲者の霊を慰めるため、地区の先人達が、慰霊祭を明治三十三年から百八年の長きに亘り執り行っており、現在に至っております。

貞山堀が果たす役割は、時代により変化しておりますが、現在もこの運河から多くの恩恵を受けております。

私たちには、文化とも称されるこの慰霊祭を、後世に引き継ぐべく大事な任務を課せられていと存じます。

大代住民の母なる河とも言うべき貞山堀に係わる先人達の労苦を偲び、皆様と共に静かにご冥福をお祈り申し上げます。尚、今年は大代地区が開催を担当いたします。

流灯花火大会

八月二十日(木)

午後六時

エコを考える

大代中区 高橋 秀秋

エコ、エコとよく耳にしますが、エコとは何か。私は仕事の関係上、折に触れて考えることがあります。一言で言うならば自然（環境）を大切にすることではないかと思つています。つまり、自然（環境）を守ることを怠れば、現在の生態系や自然現象が著しく変化し、いずれわれわれが生活する場を失うことになりかねないと言ふことです。飛躍した考え方も知れませんが、大代地区は標高が低く、海面の上昇は、大きな災害に繋がるのではと思うときもあります（その前に地震や津波の方が心配と思うところもあります）。

ところで、最近、エコポイントやエコカー等、国を上げてエコ商品の普及に取り組んでいます。いずれも環境にやさしく地球温暖化抑止に貢献しているものと言えます。しかし、なかなか高額な商品であり、全部を買う訳にもいきません。昔ながらモノを大切にし大事に使うこともエコに繋がっていると思ひます。

私達が生活している近くに火力発電所があります。日々家庭や職場等で使用する電気を供給している訳ですが、そこで発生している二酸化炭素（煙や炎）の量を少しでも減らすことがエコであり、環

境を守る上で大切なことだと思ひます。

チョツとした心がけでできるエコ、様々ありますが、今や環境問題を考えない職場や生活は決して好ましいとは言えない時代になってきています。これからはこうした環境を考える動きに関心をもつて生活していきたいものです。

区民のぼやき

大代西区 笹原 うた子

毎年八月二十日に流灯花火大会と川で亡くなった方の合同慰霊祭が行われ各地区の区長や役員さん大変御世話様です。いつも頭がさがる思ひです。

私らは姑から引き継いだなかに「先祖が橋本橋から落下して亡くなっているの合同慰霊祭に必ず行って焼香するように!!」と言われ、毎年夕飯の用意と忙しいなか時間を気にしながらお尚様の御経を聞き焼香し先祖供養しています。ところがここ二、三年何か変だなと感じるようになりました。厳かであるべき慰霊祭が軽じられていくような気がしてなりません。今年は寄付金を集めてナイヤガラの花火をするそうですが疑問を感じています。先祖が喜ぶでしょうか？花火がメインじゃなく慰霊祭を重んじて下さい。子供達にも何で慰霊祭をするか伝えて欲しいと思ひます。線香花火でいいんじゃないですか。風情がありますよ。

サークルゆり会員募集

体を動かし、心を躍らせ頭を使い、皆さんと触れ合うことで自分の老後を豊かなものにする足掛かりにしてみませんか。

活動日 第二・第四木曜日

午後一時三十分～三時三十分

会場 大代地区公民館体育室

活動内容 レクリエーションダンス

伊藤 電話 365-3365

宮本 電話 364-0460

大代地区公民館

軽運動教室参加募集

開催日（全六回）

八月十九日（水）・八月二十六日（水）

九月二日（水）・九月九日（水）

九月十六日（水）・九月三十日（水）

時間 午前十時～十一時三十分

場所 大代地区公民館 体育室

講師 佐藤 加津子 先生

運動のできる服装で、上靴・バスタオルを持参してください。

申込は八月一日（土）～七日（金）

大代地区公民館事務室又は電話にてお申

込ください。

問い合わせ 大代地区公民館

電話 364-8442

大代の歩み (十七)

大代南区 渡邊 巖

七北田川は泉ヶ岳を源として仙台市泉地区を横断し、古くは岩切新田よりそのまま東流して多賀城址の南方で砂押川の河道に入り、東南流して大代付近から湊浜に至りここで海に注いでいた。

しかし、慶長十六(一六一一)年頃に行われた七北田川の蒲生への放水路開削、寛文一〇(一七一三)一六七〇(一七三〇)年の七北田川と砂押川との流路分離工事の結果、仙台市岩切から東南流して仙台市田子と和田新田を通り、蒲生で仙台湾に注ぐ現在の流路になったものである。

湊浜は、多賀国府時代が最も賑やかで、中世の藩政初期に至るまで連続として七北田川の河口港としての役割を果たしていたと考えられる。しかし前記の様な河道改修により砂押河道は流量不足による河道の不安定化、河口の閉塞などの為に舟航が困難となり、さらに御船入堀の開削に及んで河口港としての役割を失い、一漁村となったものと推測される。

御船入堀完成までの物語はこの辺で措き次は完成後の運河利用を巡って塩竈と周辺の村々との間に生じた確執に話を移そう。

一、塩竈の水揚げ独占

御船入堀完成後までもない貞享二(一八六七)年十二月、藩から塩竈に対し農・水産物の取扱いで多くの特権が与えられたが、その内の一つは次のようなものであった。『それまで勝手次第に宮城郡諸浜に荷揚げしていた漁船や諸商船の荷物、五十集(いさば)船、自国・他国の材木船とも、すべて塩竈港にのみ着岸し、荷の売買を行う事にする』(貞享二年令)

この事は大代を含む周辺の浜へ大きな影響を及ぼし、その後長い間塩竈と周辺の浜との間に生じた様々な対立や確執は当然の成り行きだったのだろう。

続く

※参考文献

『多賀城市史・多賀城町史・多賀城村史』

衆議院議員選挙八月三十日(日)

選挙です。棄権しないで

必ず投票しよう

「大代地区選挙管理推進委員会」

ふれあい短歌

大代西区 藤田 遊子

軍備なき 平和な國を創りたる

ファイブスターの 偉業を偲ぶ

数多なる 犠牲の上に 築かれし

平和な倭国 永久に残さむ

終戦日 うとき世代となりたるも

白球は飛ぶ 甲子園の空に

ファイブスター…マツカーサー元帥

数多(あまた)なる犠牲

…将兵等約二百五十万人

白球は飛ぶ…高校野球甲子園大会

ふれあい俳句

大代西区 松浦 富男

走り梅雨 男ばかりの 兄弟会

荒れ梅雨や ジンケリーの 水飛沫

茹蛸を 提げて 帰りし 半夏寒

蟻地獄 潰して 歩く 反抗期

花あやめ 色を飛ばせし 行 潦

笠神西区 本郷 勝子

白滝の 回り真みどり 生き生きと

あじさいの 幾何学模様 雨上る

薄暗き 山ゆり無言 壺の碑に

目を細め 風吹き渡り 青田波

ひかる雨 そよ風あり 梅雨あける

八幡 森 季子

下草に 揚羽もどきの 動かざり

そそくさと 茂みに 紛る 縞蜥蜴

万葉の 衣装の 馴染む あやめ園

花芯より 笠女郎 花あやめ

雨迎へ 背筋のばせし 花菖蒲